

森と緑の会だより

TOPICS

特集インタビュー

- ・緑の募金グッズ「高知の山歩き手拭い」イラスト作者
森下嘉晴さんに聞く「山歩きの魅力☆」

事業中間報告

- ・緑の募金・緑と水の森林ファンド
 - ・こうち山の日推進事業ほか
- 平成 27 年度緑の募金感謝状贈呈

2016

秋号

表紙の写真：「山の日」を祝して嶺北の山で遊ぼう！」

8月11日（木・祝）、土佐町の「ふるさと再生の森」で植物観察&木工体験を行いました。
みんなでツリーハウスからシダの葉を飛行機にして飛ばしました。

緑の募金グッズ「高知の山歩き手拭い」イラスト作者 森下嘉晴さんに聞く「山歩きの魅力★」

山のことを話し出すと目がキラキラ輝く森下さん。普段のお仕事のほかに、山歩きガイドや絵の制作などを通じて、日々山の魅力を感じているそうです。そんな森下さんに「山歩きの魅力」についてお聞きしました。



森下嘉晴さん（森林管理署勤務）

森林セラピスト・森林インストラクター

18歳より四国の山を、地下足袋を履いて転々とする。幼少のころ、森で妖精に出会って以来、森の精になるべく日々精進中。「森の回廊・巨大アカガシの森」で県展洋画部門初特選を受賞。

手拭い連動企画として「山の絵地図」をホームページで公開中。URL：<http://www.moritomidori.com/page/00000002.htm>

●一番好きな山：久保谷山風景林（梶原町）

●刊行物：「雲の上のまち・まつばら 森音・水音・風音
～アカガシとセラピーロード～」(1,000円)

発行：松原まろうど会＋出版委員会

森下さんの油彩と文で、梶原町松原の魅力をたっぷり紹介しています。金高堂書店等で販売しています。⇒⇒⇒⇒⇒

絵にみとれます



●山に生まれ・山の仕事に就き・山が大好き

出身は日高村で、家は猿田洞の近くの山の中腹にありました。子どもの頃は、しょっちゅう山に虫や鳥を取りに行っていました。おじい「狸はまゆ毛の数を読んで人を騙すき、唾でまゆ毛を固めちよかないかん」とよく言われたのを、山歩きガイドを始めて思い出します。「眉唾」って言葉があるけど、おじいは「意識して歩きよらんと、とんでもない方に行くよ」と言いたかったのかなと思います。

高校卒業後は、営林署（現在は森林管理署に改組）に就職し、主に現場の森林事務所で地下足袋を履いて山を歩き、国有林野の管理業務を中心に、造林や木材生産等の森林整備に関わる業務や、各種調査、林道や獣害対策等、様々な業務をしています。30年余り山の仕事をしていますが、そのほとんどが四万十地域。今年から安芸森林管理署に配属され、伊尾木川筋周辺の現場を担当しています。仕事の中に、四万十地域では出会えなかったニホンカモシカに遭遇したのは嬉しかったです。

●手拭いのイラストに込められたメッセージ

高知を「四万十編」「まんなか編」「東部編（来春完成予定）」の3つにわけて、登山道があったり、山登りのガイドブックに載っていたりする山を中心に、名前入りでたくさん山を描いています。「この山に行ったことがある、ここは行ったことがないき次に行こうか」という風に手拭いを見てもうえると、それもおもしろいと思います。

一般的に山登りは、きつくて、危険で、苦しいというイメージを持つ人も多いですが、山に足を運んでください。楽しいですよ。まずは山に行ってみて、山に親しみ、山を身近に感じて欲しいです。

デザインのこだわりは、地名を旧市町村名にしていること。市町村合併で昔の地名が消えてしまったけど、それを何とか残したいと思い、手拭いに記しています。「山の絵地図」にも描いていますが、日々変化していく中で、「昔はこんなことがあった、あんなことがあった」という話を書きとめておきたいと思っています。

●山歩きの魅力

初心者の方は、必ず慣れた人と一緒に行くこと。安全に家に帰ってくるまでが山登り。しんどいと思ったら、途中で引き返すことも勇気です。頂上を目指すだけがゴールではないし、山歩きにはいろんな魅力があります。

森の中で感じる時間はゆったりとしていて、空気も違います。山に寝転んで空を見上げ、静かに森の音に耳を傾けるのもいいし、落ち葉の上をサクサク歩くのも気持ちいい。嫌なことがあった時には、土が嫌な気持ちを吸い取って忘れさせてくれます。山を歩く時に木を見るのもいいけど、土を感じるのもいいです。

久保谷山でガイドをしていた時に、「私は土になる」と言ったおばあさんがいました。「私は、今まで死ぬことがすごく怖かったけど、山に寝転んで空を見ていたら、土に還って、命が巡り、草木を支え育むと思えば怖くなくなりました」という話に感激しました。1cmの土ができるのに100年かかるといわれます。人間の生きている時間の何倍何十倍という長い時間が森の中では流れ、途切れることなく命が巡っている。そんなことを感じながら歩くと、山歩きって楽しいなと思います。

また、山歩きをしていると“往環道（おうかんどう）”と言われる昔の生活道を見ることが出来ます。集落から集落まで、何百年もわらじを履いて人が行き来してきた道が今も残っていて、お地蔵さんなんかもある。昔の人は集落と集落を最短距離で行ける険しくない道を作って、行き来していたのは生活の知恵ですね。そういう昔の人の生活が垣間見えるのも、山登りの楽しみのひとつ。お年寄りにその当時の話が聞けたら、それも楽しいですし、逆に、そういう話がどんどん途絶えて聞けなくなるのが残念です。

分水嶺（ぶんすいれい・雨水を異なった水系に分かつ山の峰々）を感じながら歩くのも好きです。一歩違えば、水が流れる方向が変わる。私たちの毎日でも分水嶺と同じで、日々選択しながら生きている。今日何を食べるかも、何時に寝るかも分水嶺。そんなことを、分水嶺を歩いていると感じます。

「なんでわざわざしんどい思いして山に登る？」という人もいますが、人生と同じで、平坦なだけじゃつまらない。上り坂、下り坂、デコボコ道を歩いたり、獣道に迷い込んだり、つらい思いをしたりしたことを、ふとした時に思い出すことがあります。そういう思い出せる場面があることも嬉しいこと。雨降りの山もいいし、山登りをしていると思いがけない感動に出会え、毎回違うからあきることはありません。

一人で歩けばいろんなことを感じられるし、みんなで行けばそれも楽しい。是非、山に行ってみてください。

緑の募金グッズ「緑の募金 × 高知家」木製バッチ & 「高知の山歩き手拭い（四万十編・まんなか編）」ご紹介

一定額以上を緑の募金に寄付いただいた方に、「高知県森と緑の会」オリジナルの緑の募金グッズをプレゼントしています。募金の方法などについては、お気軽にお問い合わせください。

500 円以上の募金でバッチプレゼント

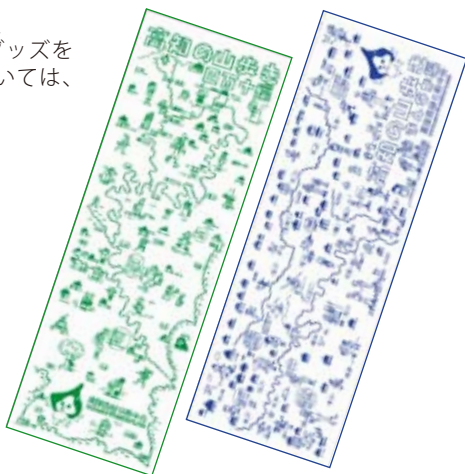
木のぬくもりあふれるバッチを胸に、高知と緑を愛する気持ちをアピールしよう！



※直径約3センチ
高知県産ヒノキの間伐材使用

1,000 円以上の募金で手拭いプレゼント

「四万十編」「まんなか編」「東部編（来春完成予定）」を首に巻いて山歩きしよう♪





平成 28 年度緑の募金公募事業

緑の募金を活用して、一般公募により森林ボランティア団体等が実施する事業に交付金を助成しています。今年度実施する事業の一部をご紹介します。

緑化の推進 さおりが原再生事業（三嶺の森をまもるみんなの会）

三嶺はかつて四国で最も自然が残された山と言われていました。しかし、2005 年頃からシカの被害を受け、林床植物が消失して裸地状態となった場所では土砂崩れが起こるなど、深刻なダメージを受けています。今年度の事業では、さおりが原周辺の森の再生を図るため、防鹿柵の設置やラス巻き作業、さおりが原周辺で採取した種子から発芽させたトチノキ、ブナの幼苗の植栽等の作業を実施しました。

作業には、三嶺の森をまもるみんなの会のメンバーや高知中部森林管理署、高知県や四国森林管理局の職員、香美市、香南市の職員、高知工科大学の職員や学生、高知大学理学部の学生、一般ボランティアの方など約 140 名が参加しました。



約 550 メートルにわたり防鹿柵を設置しました。写真右側は、数年前に設置した柵の中で再生した植物です。左側の裸地状態の林床と比べると、防鹿柵の効果を見ることができます。

森の木で作った楽器で子供が音楽会をひらくプロジェクト（木と音の会）

「心に残る経験を通して、自然や森に関心を持って欲しい。森の木が音楽の素材になれば、森は魅力に満ちた場所となり、子どもたちと森がつながる」という想いから始まったプロジェクト。

「木と音の会」は、高知県産の間伐材で楽器のパーツを作り、子どもたちと一緒に楽器を組み立て、演奏を通して地域を豊かにする活動を行っています。今年度の事業では、香南市の香我美小学校で楽器を作るワークショップを行いました。「間伐材って何？」「これは何の木？どんな香りがする？」など、子どもたちは興味深々で楽器を組み立てました。組み立てた後は、演奏の練習です。現在、秋の文化祭に向けて練習中です。



平成 29 年度 緑の募金公募事業の募集について

募集期間：2016 年 10 月 15 日～11 月 30 日必着
事業実施期間：2017 年 4 月 1 日～11 月 30 日
(植樹の場合は、3 月実施が可能)

申請方法：必要書類を提出

※詳細については、当会ホームページの以下の URL をご参照ください。

<http://www.moritomidori.com/page/00000003.htm>

森のようちえん★自然の中で思いっきり遊ぼう！

海外から始まった「森のようちえん」は、自然の中で幼児の教育や保育を行い、子どもの自主性・思いを尊重し、子どもが本来持っている好奇心や感性を引き出す取り組みです。最近では、日本でも増えてきて、保護者の育児支援にもなっています。

高知市にある「アジロ自然の森」では、月に1回ぐらいの割合で「森のようちえん」を開催しています。

「緑の募金」「緑と水の森林ファンド」 森のようちえん(予定)

【5月8日】

開催日	イベント名
5月8日(日)	森のようちえん&自然体験
7月24日(日)	森のようちえん&アジロ山を綺麗にしよう
9月4日(日)	森のようちえん&木工クラフト体験
11月6日(日)	森のようちえん&自然体験
2月5日(日)	森のようちえん&木工クラフト体験
3月19日(日)	森のようちえん&春の息吹を観察しよう



森の中で絵本の読み聞かせ～♪

【7月24日】



いつも遊んでいるアジロ山をみんなで綺麗に清掃しました。



大きな岩登りだってへっちゃら！

緑と水の森林ファンド

平成28年度は、木育インストラクター&森林インストラクター養成講座、桜の治療など9つの事業を予定しています。

「山の日」を祝して嶺北の山で遊ぼう（嶺北緑と水の会）

今年から祝日となった「山の日」。山があることで命の水が育まれ、そこで育つ樹木や草花によって豊かな空気ができています。新しくできた「山の日（8月11日）」に、草木に親しみ、森の恵みを楽しむイベントを開催しました。



イベントが行われたのは土佐町の「ふるさと再生の森」。「緑の募金」や「緑と水の森林ファンド」などにより安全に遊べるように整備され、遊具やツリーハウスなども設置されています。

午前中は、牧野植物園の稲垣典年先生と一緒に森を散策し、草木について教えてもらいました。

午後からは木工クラフト体験です。さめうら工房の稲村道男先生と一緒に、自然の素材を組み合わせ、自由な発想で作品づくりを楽しみました。

こうち 山の日 推進事業

こうち山の日推進事業は、高知県森林環境税を活用した補助事業です。平成 28 年度は、2 次募集まで行い、体験ツアーや森林学習イベントの開催、山の日一日先生派遣など、32 事業が採択されました。



これから実施予定の事業は以下となります！

イベント名	実施団体	予定日
高知の木で太鼓を作ろう！ 2016	高知の木で太鼓を作る会	8月～1月
四季の樹木観察会と季節の味覚を楽しもう	里山ファミリー	10月22日(土) 12月17日(土)
障害者とボランティアの森林体験の集い 2016	障害者の生活と権利を守る高知県連絡協議会	9月22日(木・祝)
まいなばざんまいツアー (第2回)	バーチャル本川村	9月24日(土)
白木谷を安全で住みよい里山にしよう！	森の元気！お助け隊	10月1日(土) 10月2日(日)
フォレストワークショップ ～林道で五感を楽しむ一日～	サンゴと森の救援隊	10月～1月 のうちの1日
まるごと甫喜ヶ峰 (森林で学ぶ高知家の自然環境)	土佐教育研究会環境教育部会	10月9日(日)
奥四万十 親子自然体験キャンプ	昆虫の森をつくろう会	10月9日(日) ～10月10日(祝)
キコリンジャー祭り	さかわ戦隊 キコリンジャー	10月15日(土)
親子バスツアー～奥四万十の森にひっそりと 生きる不思議なキノコの世界を学ぼう！	公益社団法人生態系トラスト協会 (四万十 ヤイロチョウの森ネイチャーセンター)	10月16日(日)
自然と暮らすさき 2016～いざ！須崎のてっぺん！ はんだがもりハイキング Vol.2～	NPO 法人 暮らすさき	10月30日(日)
第5回四国ジビエグルメフェスタ	嶺北ジビエ実行委員会	11月6日(日)
大野見島ノ川渓谷 秋の植物学習ウォーキング	島ノ川渓谷等修景緑化推進委員会	11月6日(日)
幡多山もりフェス 2016	幡多山もりフェス実行委員会	11月6日(日)
高知の木で太鼓を作ろう！ in 幡多山もりフェス 2016	高知の木で太鼓を作る会	11月6日(日)
大月の製炭学習と里山への植栽事業	大月町備長炭生産組合	11月12日(土)
障害のある子どもたちと家族の～紅葉の森であそぼう～	一般社団法人 高知県山林協会	11月13日(日)
自然体験・山の学校	海森自然体験公園	11月13日(日) 1月22日(日)
森林総合センター祭「キッズフェス」	情報交流館ネットワーク	11月20日(日)
中土佐町まるごと市 木使い体験学習 ①ヒノキ丸太でキャラ顔づくり！ ②ヒノキを使って太鼓(カホン)をつくろう！	中土佐町まるごと市実行委員会	11月26日(土) 11月27日(日)
若山楮プロジェクト・若山楮蒸し剥ぎ・白皮へぐり 体験	黒潮町佐賀北部活性化推進協議会	12月11日(日) 12月18日(日)
きのこの駒打ち体験	甫喜ヶ峰森林公園ネイチャーゲームの会	1月29日(日)

※山の日一日先生派遣事業は、体験活動高知、情報交流館ネットワーク、高知県山林協会、津野町森の拠点づくり運営委員会の4団体が実施します。

森林・山村多面的機能 発揮対策交付金事業

今年度の事業をご紹介します！

さめうら水源の森ネットワーク

8月8日から2日間にわたって大川村の水源の森で、初級の伐倒技術講習を行いました。愛媛県の自伐林家の菊池俊一郎さんを講師にお招きして、「より」実践的な技術を、現場での実技を中心に学びました。県外からの参加者もあり、プロから学ぶ現場での経験・知識に、積極的に質問が飛び交うなど内容の濃い2日間となりました。

林野庁の国庫金事業で、里山林の保全管理や侵入竹の除去、未利用材の利用や森林環境教育など地域の活性化を目指した取り組みに生かされています。今年度は63団体が採択され、県内各地で里山を守る様々な活動が行われています。





平成 27 年度緑の募金感謝状贈呈者

「緑の募金」では、毎年一定額以上の寄付をいただいた個人や団体、募金活動にご協力いただいた個人や団体に感謝状を贈呈しています。平成 27 年度は、以下の団体に感謝状を贈呈いたしました。

国土緑化推進機構理事長感謝状

・株式会社土佐山田ショッピングセンター

高知県知事感謝状

・ダイドー・タケナカビレレッジ株式会社
・ダイドードリンコ株式会社※

高知県森と緑の会理事長感謝状

・H M I ホテルグループ
ザ クラウンパレス新阪急高知
・四国キャンティーン株式会社
・株式会社西森建設
・株式会社日産サティオ高知※
・こうち生活協同組合
・高知北ライオンズクラブ※
・富士ゼロックス四国あいさくらぶ
・株式会社サニーマーケット※
・株式会社ウィル
・株式会社四国銀行※
・香南市立野市小学校

(敬称略／※印は贈呈式出席者)

※贈呈基準は、公益社団法人高知県森と緑の会緑の募金顕彰要綱による



感謝状の贈呈は、毎年当会の定時総会で行っています。今年度は、平成 28 年 5 月 24 日（火）に贈呈式を行いました。今回は、当会発足 20 周年の記念の年でもあり、来賓として高知県知事の尾崎正直氏と四国森林管理局長の大山誠一郎氏にもご出席いただき、来賓祝辞をいただきました。

高知県知事感謝状は尾崎知事から、高知県森と緑の会理事長感謝状は当会の結城理事長から贈呈いたしました。

高知県森と緑の会 正会員・賛助会員をご紹介します

【正会員】

高知県
3 4 市町村
2 3 森林組合
高知県森林組合連合会

安芸建設協会
高陵地区建設協会
株式会社四国銀行
株式会社高知銀行

株式会社高知新聞社
(一社) 高知県木材協会
(一社) 高知県山林協会
(一社) 高知林業土木協会

※敬称略・順不同 (平成 28 年 8 月 1 日現在)

高知県農業協同組合中央会
農林中央金庫高松支店
高知県種苗緑化協同組合

【賛助会員】

安芸獺友会
中芸獺友会
芸東地区獺友会
香美獺友会
いの地区獺友会
高吾地区獺友会
佐川中央獺友会
土佐清水地区獺友会
高幡地区建設協会
宿毛地区建設協会
株式会社とさいほく
嶺北林材協同組合
協同組合木星会
仁淀川漁業協同組合
馬路村農業協同組合
有限会社エスエス
丸和林業株式会社
有限会社高知事務機
川村モーターズ
有限会社海昌
こうち生活協同組合
有限会社香北観光
株式会社濱長
鈴木建設株式会社
株式会社島田屋
株式会社リーブル

(一社) 高知県建設業協会
(一社) 高知県建設業協会室戸支部
(一社) 高知県建設業協会嶺北支部
(一社) 高知県建設業協会南国支部
(一社) 高知県建設業協会伊野支部
(一社) 高知県建設業協会高吾北支部
(一社) 高知県建設業協会中村支部
(一社) 高知県森林整備公社
(一社) 高知県森林土木協会
高知県林業改良普及協会
高知県素材生産業協同組合連合会
高知県木材産業協同組合連合会
(協) 高知県木材市場連盟
(協) 西部木材センター
生活協同組合コープ自然派しこく
入交石油・東洋電化工業共同企業体
医療法人 恕泉会 内田脳神経外科
医療法人 産鈴会 田村産婦人科
仁淀流域素材生産業協同組合
有限会社福井フラワーガーデン
株式会社エヌ・シー・ビー
株式会社林釣漁具製作所
中土佐ライオンズクラブ
はりまやハーバークラブ
有限会社太平洋マリン
シュウハウス工業株式会社
ガーデン&エクステリア en

竹内 寛興
川田 勲
鍋島 浩
宮地 辰彦
臼井 裕昭
土居 稔
坂本 彰
坂本 千代
受田 浩之
川上 博正
大野 靖紀
安藤 徹
國沢 一之
山下 俊次
野口 朗子
岩村 俊夫
田村 壮児
杉本 明
門田 数子
谷口 喜美
江淵 郁子
西内 章子
井澤 三男
福田 誠
吉田 日和
高橋 隆
松本 美香
隅田 俊佑
西森 潮三
道原 大貴
西内 健※
溝刺 健夫※
三石 文隆※
加藤 漢※
弘田 兼一※
土森 正典※
浜田 英宏※
依光 晃一郎※
桑名 龍吾※
中西 哲※
(※名誉会員)

当会の運営や、森づくり活動、緑化の推進、子どもたちに緑の大切さを伝える活動等にご協力いただきまして、ありがとうございます！



生活の中で緑を増やす 緑の募金にご協力ください

「緑の募金」では、企業のご協力を得て、日々の生活の中で募金できる取り組みを実施しています。

■「緑の募金」自動販売機

ダイドードリンコの「緑の募金」自動販売機で飲み物を購入していただくと、代金の一部が募金されます。

自動販売機を設置してくださるオーナーさんも募集中です！



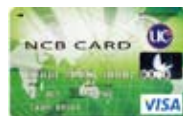
緑の募金マークや
どんぐり君が目印です。

■ハーティーカード

サニーマート全店舗に設置されているハーティーポイント交換機で「緑の募金」を選んでいただくと、たまったポイントで募金ができます。

■NCB 森と緑のカード

NCB 森と緑のカードでお買いものをしていただくと、ご利用代金の一部が「緑の募金」に寄付されます。<http://www.ncb-card.co.jp/card-mori.htm>



■土佐山田ショッピングセンター レジ袋ポイントカード

お買いもの時にレジ袋をお断りするとスタンプがもらえるポイントカードに 30 ポイントたまると、お客様に 100 円のお買い物券をプレゼントすると同時に、緑の募金に 50 円を寄付いただいています。

■ナンコクスーパー 「エコ・ポイント」サービス

「マイバッグ・マイバケツご持参」のお客様のメンバーズカードにポイントをお付けする「エコ・ポイント」サービスを実施。「エコ・ポイント」は現金に換算され、緑の募金に寄付いただいています。

■こうち生活協同組合 「コープ洗剤 環境寄附キャンペーン」

キャンペーン期間中に、こうち生活協同組合で取り扱う衣料用洗剤 9 品目の売り上げの一部（1 点につき 1 円）を緑の募金に寄付いただいています。

秋の「緑の募金」キャンペーン

毎年 9/1～10/31 は秋の緑の募金強化期間です。
緑の募金にご協力をお願いします！

都市緑化祭 10/8 (土) ▶ 10/10 (月)

時間：9:30～17:00 ※月は 16:00 まで

場所：高知市中央公園

植木・鉢花の展示即売会やチャリティーセリ市（10/9）で、お得にお庭に緑を増やしましょう！

苗木や花の種の無料配布、木製品の販売や木工体験コーナー、寄せ植え教室（10/8）やこけ玉教室（10/9）、よさこい鳴子踊り＆チャリティーコンサート（10/10）など、イベントが盛りだくさん♪ 遊びに来てね！



賛助会員募集

高知県森と緑の会は、「緑の募金」に寄付いただき、高知県内の森林整備や緑化の推進、次世代を担う子どもたちに緑の大切さを伝える活動などを行っています。
この活動にご賛同いただける会員様を募集しています。ご協力よろしくお願いします！

**【年会費】 個人 3,000 円から
団体 10,000 円から**

※広報誌「森と緑の会だより」、ぐりーんもあ、イベント案内などをお送りさせていただきます。

※当会は特定公益増進法人に該当します。賛助会費や緑の募金にご協力いただきますと、特定寄付金として税制上の優遇措置が受けられます。

発行

公益社団法人高知県森と緑の会

〒780-0870 高知市本町 5 丁目 1 番 50 号中沢ビル 4 階

電話番号 088-855-3905 FAX 番号 088-855-3906

Email: info@moritomidori.com URL: www.moritomidori.com

当会ホームページ
QRコード ⇒
⇒ イベント情報などを
随時お知らせします

